

また、二人とも「うちからは生ごみはほとんど出ませんよ」と言います。ごみが減って、野菜がおいしく感じられ、家庭ごみ有料化後には家計も助けてくれる生ごみ堆肥化は一石三鳥ともいえそうです。町内会や友人と楽しみながら取り組むことも長続きの秘訣(ひっけつ)かもしれません。

レジ袋有料化 民間企業の取り組み

ごみ減量への取り組みは市内の小売店でも始まっています。札幌東急ストア(加固正好社長)は今年五月、札幌市、札幌消費者協会と協定を結び、六月二十日から、東急ストア福井店でレジ袋を一枚五円に有料化しました。今まで道内のほかの市町村で行っている小売店はありませんでしたが、競合店の多い札幌市内では初の試み。同店の動向が市内の小売業者の注目を集めます。

同社によると福井店のレジ袋辞退率が全店平均18%を大幅に上回る34%だったことと、地元の固定客が多かったことが導入の決め手になったとのこと。今後、近隣の平和店での有料化も検討していくそうです。

初日の六月二十日には、福井店の店舗入り口でオリジナルマイバッグ作りのイベントが催されました。親子で参加した泉さんは「レジ袋有料化に賛成。使えるものは繰り返し使うようにして、ごみを

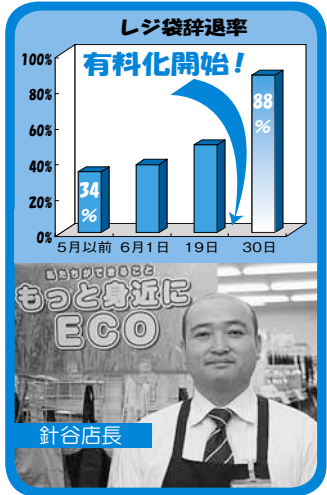
減らす努力をすること



●泉さん親子「楽しかった」と一歳の聖人ちゃん

●予想以上の好反応

この取り組みは予想以上の効果がありました。同社は当初、レジ袋辞退率を70%まで高め、年間で二酸化炭素十ト(レジ袋二十一万枚相当)を削減することが目標でした。ところが、有料化を実施した六月二十日を境にレジ袋辞退率が88%まで急上昇。この反響に関係者にはうれしい驚きが広がりました。また、有料化したレジ袋による収益金は、環境教育に役立ててもらおうと地元の小学校に寄付する予定となっており、同店の針谷店長は「子どもたちが大人になったとき、環境問題で困らないよう、正しい知識を身に付けることが大事。当店が少しでもその役に立つことができれば」と期待しています。



みに行こう!!



ごみ処理の現場

～百聞は一見にしかず～

「レジ袋要りませんと言うの恥ずかしくて…」「分別、分かっているけど面倒くさくて…」こんな方にお勧めなのが、ごみ処理の現場を実際に見ること。

分別されていないごみのほとんどは機械で取り除かれますが、それでも分別しきれなかった物はベルトコンベヤーを流れる間に作業員が手作業で分別していること、あなたはご存じですか? ペットボトルのキャップだって一つずつ外すのです。見ればきっと、ごみへの意識が変わるはず。

「リサイクルプラザ宮の沢」では埋め立て地や清掃工場をはじめとした、市内のごみ処理施設を見学するバスツアーを行っています。ぜひ参加してみましよう! 詳しくは右記へ。

リサイクルプラザ宮の沢

宮の沢1条1丁目生涯学習総合センター「ちえりあ」1階
 開館時間：午前10：00～午後6：00
 休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌日)
 年末年始(12月29日～1月3日)
 交通機関：地下鉄東西線宮の沢駅から地下通路直結
 TEL671-4153 FAX671-4156

「埋め立て地を実際に見てごみの量に驚きました」「分別の大切さが分かりました」
 ごみ処理施設見学会に参加した西町在住の藤木さん(右)と友人の後藤さん(左)



広告